

### 区ビジョンとは

区民と行政が区の将来像を共有し、お互いに役割を分担しながら協働するため、区自治協議会に代表される区民と、区役所が協働し策定する「区ビジョン基本方針」に基づき、まちづくりの具体的な取組みを明らかにする計画

### 次期計画期間

令和5年度～令和12年度

### 主な外部環境の変化

#### ● 人口減少、少子・高齢化が加速化



● 社会保障費の増大や税収等の増加が見込めない中、道路や公園などのインフラや公共施設が老朽化し、維持管理・更新費用が増大

● SDGs(持続可能な開発目標)への関心の高まり

● 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・ 地域コミュニティの弱体化
- ・ デジタル化の必要性に対する認識の高まり
- ・ 地方への関心の高まり など

### 開催概要

日時：11月25日(木)午前9時30分～11時

会場：江南区役所302会議室

内容：① 現行の区ビジョンまちづくり計画のふりかえり  
② 次期区ビジョンまちづくり計画策定に向けた今後の方向性の検討

■ ワークショップは目指す区のすがたごとに班を分けて実施

- 各施策のこれまでの取り組みをプラス・マイナスで評価  
※宿題として事前に付箋に記載
- 評価などを基に各施策の今後の方向性についてとりまとめる
- 目指す区のすがたの今後の方向性をとりまとめ、発表

現在の区ビジョンまちづくり計画で設定されている「区の将来像」と「めざす姿」

## 江南区自治協議会ワークショップ 現状把握シート

【区の将来像】 緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち  
 【目指す区のすがた】 1. 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち



目指す区のすがた実現に向けた取組み	現状と課題	【参考】将来（2040年ころ）に想定される課題・変化
<p><b>1 都市機能の向上</b></p> <p>(1) 道路網の充実を図るため、新潟中央環状道路の整備や交通渋滞の解消に向けた道路整備など円滑な交通体系を整備した。また、交差点のカラー舗装化など安心安全に通行可能な道路整備を行った。</p> <p>(2) 公共交通の利便性向上を図るため、区バス・住民バスの運行内容を見直したほか、住民バスの試験運行を実施し、公共交通の充実に努めた。また、新たな駅の設置について土地区画整理組合準備委員会とパークアンドライド施設を備えた新駅周辺施設整備について調整を図った。</p> <p>(3) 計画的な土地利用に向け、中央卸売市場周辺地区土地区画整理事業への指導・助言、技術支援や二本木地区における土地区画整理組合設立に向けた支援を行った。また、人口減少や高齢化する農村集落の維持活性化を図るため、開発許可に関する条例や田園集落づくり制度などを活用することで、定住人口を確保し、農村集落の維持活性化を図った。</p> <p><b>2 憩いの空間づくり</b></p> <p>(1) 水辺空間の活用を図るため、平坦な地形特性と阿賀野川、小阿賀野川、信濃川など水と緑のネットワークを形成する資源を活用し、整備したサイクリングロードの利用を促進する「いい汗いい食江南健康ライド」を開催した。</p> <p>(2) 公園の整備や維持管理、安全に利用可能な公園施設を保持するため、監視・点検に努めるとともに、亀田公園などで遊具の更新を行った。また、避難場所指定公園の和式トイレを洋式化し、防災機能などの多様な目的に対応した公園整備を行った。</p> <p>(3) 環境保全に向け、地域要望に合わせた啓発看板の作製と配布、クリーンにいがた推進員による不法投棄防止パトロールの実施したほか、下水道の汚水管きよの整備推進を図った。</p>	<p>・関係機関などと連携し、交通渋滞の解消や安心・安全に通行できる道路を整備するため、予算状況等を踏まえながら計画的に整備を進めている。</p> <p>・区バス・住民バスともに運行計画の柔軟な見直しを行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、区バス・住民バスの乗車数が減少し、コロナ禍以前に回復していない。</p> <p>・二本木地区では、土地区画整理事業の実現に向けて、土地利用計画の検討などの取り組みを進めている。</p> <p>・新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例による開発許可件数が8区中1位(条例運用開始～R2年度)であり、引き続き定住人口を確保していくことで、集落活性化を図る。</p> <p>・環境保全への意識向上が進んでいる一方、ごみの分別が徹底されておらず、引き続き啓発が必要となっている。</p>	<p>・社会保障費の増大や税収が減少する厳しい財政状況の中、道路や公園などインフラが老朽化し、維持管理・更新費用の増大</p> <p>・人口減少に伴う輸送需要の減少など現状の輸送サービス維持が困難になる恐れ</p> <p>・既成市街地の空き地・空き家等の低未利用地が時間的・空間的に発生する「都市のスポンジ化」や低密度化が進展</p>

① 目指す区のすがたの実現に向け、実施した取り組みの概要を説明しています。

② 取り組みを実施しての現状と今後の課題を説明しています。

③ この先に想定される課題や変化を説明しています。

## 11月のワークショップまでに準備していただきたいこと

- まず、「現状把握シート」の①と②を読み、各取り組みに対して評価を行ってください。
- 色の付せんを配布しますので(1)(2)といった施策ごとに、

プラスの評価はピンクの付せん  
 マイナスの評価は青の付せん

にあらかじめ記入してください。  
 全ての施策でプラスの評価とマイナスの評価をする必要はありません。

付せんは当日ご持参いただき、ワークショップの中で使用します。

整備された遊歩道は健康づくりに役立っている。

不法投棄はまだ多い。

評価のご意見は付せん1枚にいくつも書かず、1つずつ記入してください。

〈記載例〉











- 評価した後に、③「将来に想定される課題・変化」を確認してください。  
 1で行った評価と今後の変化などを踏まえ、これから進むべき方向やどんなことに重きをおくか、考えてみてください。  
 お考えはワークショップの中で発表していただきます。

## ワークショップでの意見交換とまとめ方（イメージ）

（現在の「目指す区のすがた」）

### 1. 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

各自が書いてきた付せんをグループで確認しながら貼っていきます

これまでの取り組み	取り組みの評価
1. 都市機能の向上 (1) 道路網の充実	プラスの評価 
	マイナスの評価 
(2) 公共交通の利便性の向上	プラスの評価 
	マイナスの評価 
(3) 計画的な土地利用	プラスの評価 
	マイナスの評価 
2. 憩いの空間づくり (1) 水辺空間の活用	プラスの評価 
	マイナスの評価 

このままの将来（目指す姿）や変化を考えながら  
これからの方向性を考えてみましょう

これからの方向性
<p>考えてきたことを発表し、記録します。</p>
<p>評価が多い項目から意見交換を行うなど、全ての施策について方向性が記載されなくても構いません。</p>

これからの方向性をまとめます